

## 口腔細胞診セミナー

A seminar of oral clinical cytology

### 【セミナー企画】

久山 佳代 KUYAMA Kayo, D.D.S. Ph.D. (日本大学松戸歯学部病理学講座・教授)

### 【座長】

佐々木 優 SASAKI Masaru, D.D.S. Ph.D. (医療法人優和会おひさまにここ歯科医院)

今回は口腔がんの早期発見のために口腔細胞診に積極的に取り組む新進気鋭の口腔外科医・口腔病理医のお二方に自らの御経験と将来への展望についてお話いただきます。

### 【次代に呼応する口腔細胞診—口腔外科・病理診断科の双方に所属する細胞診専門歯科医の立場から—】

重岡 学 SHIGEOKA Manabu, D.D.S. Ph.D.

(神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理学分野・神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野)

略歴：2006年4月 神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科研修医

2015年3月 神戸大学大学院医学研究科博士課程修了

2016年2月 神戸大学大学院医学研究科助教

2020年7月 神戸大学大学院医学研究科学内講師

(病理学講座 病理学分野／外科系講座 口腔外科学分野)

要旨：近年、一般歯科診療所における口腔がんスクリーニング検査として口腔細胞診の有用性が見直され、2015年には口腔細胞診ガイドラインが示された。一方で口腔外科医の間では細胞診に対する見解は様々で積極的に実施している病院歯科は少数に留まっている。本講演では「口腔細胞診を臨床医と病理医の双方で作り上げる」を次代を見据えたmissionと考え、大学病院口腔外科・病理診断科で診療に従事してきた歯科医師の立場から口腔細胞診の現状をお話しし、病院歯科における活用法や解決すべき課題について考えます。先生方が細胞診にチャレンジする足がかりとなれば幸いです。



### 【口腔病理医がオススメする口腔細胞診】

北村 哲也 KITAMURA Tetsuya, D.D.S. Ph.D.

(北海道口腔病理診断所)

略歴：2002年4月 北海道大学大学院

2003年7月 セントルイス・ワシントン大学留学

2009年4月 北海道大学口腔病理学教室助教

2019年4月 北海道大学血管分子生物学特任講師

2019年7月 北海道口腔病理診断所所長

要旨：口腔粘膜疾患の患者が来院した時に投薬や経過観察をしていませんか？もし、それが口腔がんであったならば、投薬や経過観察によって生じるデメリットはどれほどのものでしょうか？逆に、直ちに癌とわかればどれほどのメリットが生まれるでしょうか。口腔



細胞診のメリットは安価，簡便です．具体的にどうすればよいか，結果をどのように解釈するかなど，明日からの診療に取り入れられるようご説明致します．

**【口腔細胞診 Q & A：口腔細胞診を日常臨床で活用するには】**

佐々木 優 SASAKI Masaru, D.D.S. Ph.D.

口腔細胞診を日常臨床に取り入れる際によくいただく疑問点を整理して解説し，セミナー講師とともに，オンラインでの質疑応答を行います．実際の手技についてもビデオで解説します．